



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月24日
東・名

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所
コード番号 5204 URL <http://www.ishizuka.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石塚 久継
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 畔柳 博史 (TEL) 0587-37-2111
四半期報告書提出予定日 2019年1月29日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年3月21日～2018年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	55,758	1.1	2,209	△10.1	2,099	△2.9	1,514	△21.4
2018年3月期第3四半期	55,155	△0.9	2,457	△14.2	2,162	△11.5	1,926	31.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,788百万円 (△29.6%) 2018年3月期第3四半期 2,540百万円 (0.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	433.27	—
2018年3月期第3四半期	550.74	—

(注) 2017年9月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	77,159	26,756	30.8	6,792.16
2018年3月期	81,595	25,150	27.4	6,391.64

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 23,749百万円 2018年3月期 22,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	45.00	45.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年3月21日～2019年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	1.5	2,300	△10.9	1,900	△5.0	1,400	△16.1	400.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期において、連結子会社である鳴海製陶(株)及び三重ナルミ(株)の決算期を2月末から12月末に変更する予定であります。(10か月の変則決算)。業績予想数値は当該影響を織り込んでいます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 亞德利玻璃 (珠海) 有限公司

(注) 詳細につきましては、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年3月期3Q	3,629,554株	2018年3月期	3,629,554株
2019年3月期3Q	133,010株	2018年3月期	132,787株
2019年3月期3Q	3,496,624株	2018年3月期3Q	3,498,564株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 2017年9月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、2018年3月期3Qの期中平均株式を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

2019年3月期第3四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や個人所得の改善が続くなど緩やかな回復基調で推移しました。一方、英国のEU離脱交渉の不確実性や米国の通商政策を発端とする貿易摩擦の実体経済への影響など、依然として不透明な状況が見込まれます。

このような状況のなか、当社グループは、当期を最終年度とする中期経営計画(第82期～第84期)『Next Stage ISHIZUKA 84』において、「グループ総合力の結集」をコンセプトとし、営業利益の安定的確保・有利子負債の削減・グループを横断した機能強化に向け取り組んでおります。

売上高につきましては、PETボトル用プリフォームが順調に出荷を伸ばしたほか、ガラス食器の販売が好調であったことなどにより、グループ全体の売上高は55,758百万円(前年同四半期比1.1%増)となりました。利益につきましては、売上高は増加しましたが、原燃料価格が上昇したことなどにより営業利益は2,209百万円(前年同四半期比10.1%減)となりました。受取配当金の増加や支払利息の減少などもありましたが営業利益の減少が響き、経常利益は2,099百万円(前年同四半期比2.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,514百万円(前年同四半期比21.4%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

ガラスびん関連

ガラスびんは、一部の食料調味料びんが他素材容器に移行したことにより出荷が大きく減少したことに加え、業務用ビール値上げ前の受注増加の反動によりビールびんの出荷が減少したことなどもあり、売上高は13,616百万円(前年同四半期比4.4%減)となりました。

ハウスウェア関連

ガラス食器は、アルコールメーカー向けの業務用品及び貯蔵びんの販売が好調に推移しました。陶磁器は、国内の百貨店及び法人向けの受注が減少しましたが、海外のエアライン向けの受注が増加し、セグメント全体の売上高は11,142百万円(前年同四半期比3.6%増)となりました。

紙容器関連

紙容器は、主要ユーザーからの受注が落ち込んだことに加え、一部ユーザーにおける新形状容器への移行などにより出荷が伸び悩み、売上高は5,559百万円(前年同四半期比4.0%減)となりました。

プラスチック容器関連

プラスチック容器は、前期の7月度に立ち上げた新ラインが順調に稼働し需要の増加に対応できたことに加え、主要ユーザーへの販売が好調であったことなどにより、売上高は20,887百万円(前年同四半期比5.1%増)となりました。

産業器材関連

産業器材は、ガスコンロ用トッププレートの受注は増加したものの、IHクッキングヒーター用トッププレートの受注が減少したことにより、売上高は1,507百万円(前年同四半期比0.3%減)となりました。

その他

抗菌剤は、国内及び海外での販売が順調に拡大しました。一方、金属キャップは医薬品向けの出荷が伸び悩みましたが、セグメント全体の売上高は3,044百万円(前年同四半期比1.9%増)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、2018年10月25日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,724	2,534
受取手形及び売掛金	11,875	12,134
商品及び製品	10,987	10,851
仕掛品	798	749
原材料及び貯蔵品	4,348	4,756
その他	1,498	1,167
貸倒引当金	△9	△2
流動資産合計	36,222	32,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,553	7,197
機械装置及び運搬具（純額）	8,022	7,006
土地	15,784	15,784
その他（純額）	5,249	5,850
有形固定資産合計	36,610	35,838
無形固定資産	181	184
投資その他の資産		
投資有価証券	7,605	7,789
その他	912	1,018
貸倒引当金	△25	△28
投資その他の資産合計	8,491	8,778
固定資産合計	45,283	44,800
繰延資産	89	167
資産合計	81,595	77,159

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,192	7,595
短期借入金	14,358	6,671
1年内償還予定の社債	805	814
未払法人税等	248	183
賞与引当金	728	359
その他	5,455	5,909
流動負債合計	27,789	21,533
固定負債		
社債	3,554	6,623
長期借入金	10,113	8,275
役員退職慰労引当金	66	68
汚染負荷量引当金	516	497
退職給付に係る負債	5,924	5,827
その他	8,479	7,576
固定負債合計	28,655	28,870
負債合計	56,445	50,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,911	5,911
資本剰余金	4,149	4,149
利益剰余金	5,018	6,376
自己株式	△298	△298
株主資本合計	14,781	16,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,771	2,707
繰延ヘッジ損益	△155	28
土地再評価差額金	5,338	5,338
為替換算調整勘定	151	△9
退職給付に係る調整累計額	△537	△453
その他の包括利益累計額合計	7,569	7,610
非支配株主持分	2,800	3,007
純資産合計	25,150	26,756
負債純資産合計	81,595	77,159

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年3月21日 至2017年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年12月20日)
売上高	55,155	55,758
売上原価	43,771	44,623
売上総利益	11,384	11,134
販売費及び一般管理費	8,926	8,925
営業利益	2,457	2,209
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	122	201
為替差益	—	31
受取賃貸料	119	118
その他	91	60
営業外収益合計	336	416
営業外費用		
支払利息	339	266
為替差損	44	—
解約損	—	67
その他	246	192
営業外費用合計	631	525
経常利益	2,162	2,099
特別利益		
関係会社清算益	—	214
関係会社整理益	52	—
受取保険金	—	9
特別利益合計	52	224
特別損失		
災害による損失	—	106
固定資産除却損	—	370
特別損失合計	—	477
税金等調整前四半期純利益	2,215	1,846
法人税、住民税及び事業税	404	312
法人税等調整額	△231	△77
法人税等合計	173	234
四半期純利益	2,042	1,611
非支配株主に帰属する四半期純利益	115	96
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,926	1,514

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年3月21日 至 2017年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)
四半期純利益	2,042	1,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	442	59
繰延ヘッジ損益	△13	195
為替換算調整勘定	△31	△161
退職給付に係る調整額	100	83
その他の包括利益合計	498	176
四半期包括利益	2,540	1,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,441	1,557
非支配株主に係る四半期包括利益	98	230

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額3百万円には、たな卸資産の調整額3百万円、その他△0百万円が含まれておりません。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません